

オンラインプラットフォームの運用

令和4年度は、景観まちづくりに関するオープンな情報共有や意見交換の場として、試行的にオンラインプラットフォーム「my groove ひみ」を運用してきました。

ワークショップ、実証実験の開催レポートや結果について、事務局から記事を投稿したほか、実証実験では地域の方から記事を投稿していただきました。

令和4年2月以降も令和4年度の取り組みのアーカイブとして、引き続き閲覧は可能ですので、ぜひご覧ください。(フォーム上での意見募集については、終了しています。)

「my groove ひみ」
<https://himi.mygroove.city>
 閲覧・登録はこちら



オンラインでオープンな情報発信と意見交換

「my groove ひみ」の運用状況(2022年9月~2月)



オンラインプラットフォームの導入による成果

- 市の公式LINE等との連携により、一定数の方にアクセス、閲覧していただいた。
- 市内からのアクセスが多いが、市外、県外からのアクセスも多くあった。
- 一般的なWEBメディアに比べると滞在時間が長く、ページ回遊状況が高かったことから、興味関心を持って閲覧して下さっている方が多いことが伺える。

今後のスケジュール

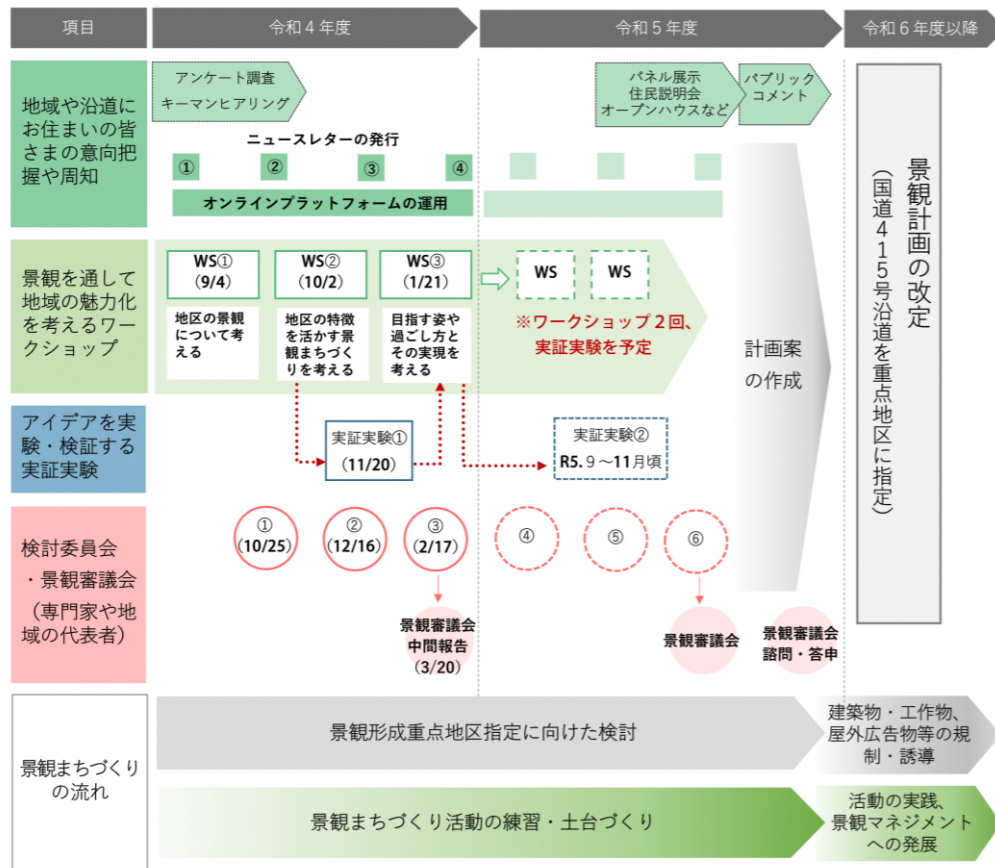
今年度も、ワークショップや実証実験(アイデアのお試し実践)など、興味や関心をお持ちの市民の皆さまにご参加いただくプログラムを検討しています。

詳細が決まり次第、ニュースレターや市ホームページ等でお知らせさせていただきますが、興味・関心のある方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

〈検討スケジュール〉

令和4年度は取り組み実績、令和5年度以降については、予定です。

令和5年度も引き続き検討を進めていきます



お問い合わせ先: 氷見市 建設部 都市計画課 都市政策担当
 〒935-8686 富山県氷見市鞍川1060番地 TEL: 0766 (74) 8078 FAX: 0766 (74) 8104

景観まちづくり

シンボルロードと氷見ICから市街地の景観まちづくりをみんなで考えよう!

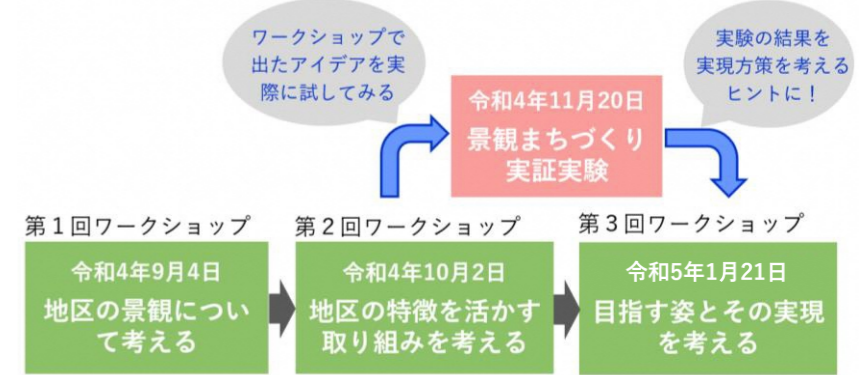
News Letter vol.4

令和5年4月

市民ワークショップからアイデアの実践(令和5年度~)へ

令和4年度のワークショップ(全3回)、実証実験がすべて終了しました!

〈令和4年度ワークショップ、実証実験のプログラム〉



- 好きな・自慢したい、気になる・改善したい、活用したい景観について
- 景観まちづくりのポイントになる場所や資源を確認するまち歩き、実証実験に向けたアイデア出し
- 国道415号沿道に活動を生み出すアイデアの実現に向けた検討を深める



〈令和5年度の検討内容〉

- 国道415号沿道「景観形成重点地区」景観計画への反映
- 景観まちづくり活動の練習や土台づくり
- 地区の魅力や課題
- 景観まちづくりの方向性
- 実現化のための方策 など
- 人の活動や賑わいを生み出していくための実証実験(アイデアのお試し実践)など

〈令和6年度以降〉

景観形成重点地区の指定 / 国道415号沿道とその周辺における景観まちづくりや賑わいづくりの実践へ

能越自動車道氷見ICから氷見漁港付近までの国道415号沿道において、魅力的な沿道景観を市民の皆さまと一緒に考え、実現していくため、昨年9月よりワークショップや実証実験を開催し、検討してきました。

今年度の最終回となる第4回目を令和5年1月21日(日)に開催し、沿道にお住まいの方、子育て世代、高校生、まちづくり活動に取り組む方などにご参加いただきました!

アンケート等も含めて、市民の皆さまからいただいたご意見やアイデアは、国道415号沿道の景観まちづくりの方向性などを定める「景観形成重点地区」景観計画の検討に活かしているほか、実証実験(Himi Sweet Sunday)を通じて、一部を実践してきました。

令和5年度は、引き続き「景観形成重点地区」における景観計画の検討をしていきます。また、今年度のご意見やアイデアをもとに、国道415号沿道とその周辺で、人の活動や賑わいを生み出していくための次のステップへ向けて取り組んでいきます。

※詳細な検討スケジュールについては、裏面(4面)をご覧ください。

第3回ワークショップの詳細は中面(2,3面)をご覧ください

景観まちづくりに関する市民ワークショップ 第3回「目指す姿とその実現を考える」

第3回ワークショップの様子



〈各グループの意見概要〉 ※詳細にまとめたものは、「my groove ひみ」にて公開しています。

アクションアイデア
 ○第2回ワークショップで出たアイデア
 ●第3回ワークショップで追加されたアイデア

想定する担い手
 ■住民・地域の人 ■団体・事業者 ■その他
 ■大学や教育機関 ■行政

A班テーマ：魅力ある周辺（上庄川や旧街道、中央町商店街、海）と415号を結び、いざなう仕掛けづくり

01 手軽に多世代が利用できるモビリティ充実プロジェクト

- モビリティだけでなく、まちを楽しむ仕掛け(おすすめルートなど)、案内人と一緒に考えることが大事
- ポイントで乗り捨てできる手軽なもの、小型バスなどの観光客が利用しやすいもの、セグウェイ、電動キックボードなど多様なものがあるとよい

03 みどり×子どもが楽しめる場所を増やそう！プロジェクト

- 木や緑を植えると、人が集まる、歩いて癒される
- 子どもが過ごしやすい×緑(並木、公園や広場、芝生、実のなる植栽)がある場所は、色々な人が過ごしやすい空間になりそう！！
- お店の前のみどりの空間づくり
- 小さくても緑(芝生、トイレ)をつくりたい

02 楽しみルートの開拓！プロジェクト

- 魅力的な通りやトレーニングに良い道の発掘・開拓
- 景色が楽しめるなど情報があると歩いたり、走ったりしたくなる
- 氷見高校を中心にランニング、ウォーキングを楽しめる道など、高校生目線で、魅力スポットを開拓するのも良さそう

04 繋がれる居心地の良い場所づくりプロジェクト

- 学生や色々な地で様々な経験をした方が入った目線で、新しいチャレンジが起こる(■=移住者、氷見に興味関心を持ってくれる外の人)
- 地域ができるサポートをしながら、移住者や氷見に興味関心を持つ人が緩やかに繋がれる場づくり、空き家も活用してできるとよい

B班テーマ：空き地や空き店舗を活用した賑わい、立ち寄れる場所づくり

01 実証実験で既に実践したプロジェクト

- 空地にベンチを置いて高齢者が一休みできるように！
- 腰を下ろしたり、少し遊んだりできる場所にしたい
- 大きな屋根をつくることで、様々な活動の拠点に！
- キッチンカーを展開して、いろいろな場所を巡る！
- 有志の団体等が継続して実践していけるとよさそう

02 空き家跡地を活かそう！プロジェクト

- 建物の老朽化を何とかしたい！
- 状態の良くない・危険な空き家を撤去している
- その後の跡地活用は自治会が担うケースがある
- 跡地の活用検討に商店会など色々な人を巻き込めると可能性が広がる

03 小さな“みどり”増やそう！プロジェクト

- 野菜市やマルシェなどに使いたい！ ●コミュニティガーデンにしたい！
- 農園運営等氷見ベジヤ JA などと連携できないか？
- 行政が農地所有者と使いたい人をマッチングする
- 農園を使いたい人のコミュニティができる
- 花や植物を植えることで緑豊かな場所にしたい！
- 食べられる植物を沿道に植えたい！
- 植物園が「緑の銀行」という取組みで自治会等に苗を配っている
- 大変だという声も自治会からあるので園芸に興味のある人など幅広い人達を対象にできないか。415号でプロジェクト化できないか

- これまでに提案されたアイデアをタイムスパン(短期～長期)に整理しながら「プロジェクト」を検討しました。
- また、自分ができること/各主体(事業者、大学生、まちづくり団体、市など)と連携してできることはなにかを意見交換しました。

(B班意見のつづき)

04 移住者が移住者を呼ぶ！プロジェクト

- 空き家、空き地を借りやすくなる仕組みがほしい！
- 外から企業が入って来て空き家を改修→賃貸する空き家ビジネスが増えている
- 地域の人が空き家ビジネスをする方がまちの魅力を活かせるかも？ 移住者が移住者の視点で、など
- 空き家の改修補助、空き家バンクを運営

05 まちに回遊を生み出す空き地活用プロジェクト

- 駐車場として活用したい！
- 飲食店の整理券システム×まちなか回遊誘導
- 人気な飲食店等に整理券システムを導入し、待っている人をまちなかに呼び込む
- 漁港・観光協会のレンタルサイクルポートをもっとまちなか全体や415号に拡げたい

C班テーマ：シンボルロードにふさわしい沿道と結節点の魅力づくり

00 点から面へつなぐ！プロジェクト

■各活動がゆるやかに連携する(情報共有・時に協力)

01 大きな拠点の取り組み(徒歩と自転車)

- 芸文館・番屋の繋がり(進行中！)
- 2大駐車場を活かし、番屋から芸文館、さらにまちなかに人を呼び込むために、芸文館をワンストップ化
- アシスト付き自転車の導入や芸文館をモビリティステーション化

02 点を発信し、つなぐ取り組み

- スタンプラリー、ヒミカなどで点を線でつなぐ
- たくさんあるお菓子屋さんやパン屋さんを活かす
- 商工会議所 ■地域おこし協力隊(■地域振興課)
- お菓子屋さん・パン屋さん
- (■氷見ビズ(■移住応援センター))

03 緑のつながりをつくる取り組み

- 沿道の空地に花や緑をふやしたい！
- 四季を感じられる植栽を植える！
- 住民・市民:小さい植栽のメンテナンス
- 氷見高校農業科:食べられる植栽を育てる
- 氷見市:大きな植栽を植える

04 ブロックごとのまちのまとまりをつくる取り組み

- シンボルロードの一体感をつくりたい！
- 統一感が大切！
- (例:建物に共通の色を付ける、ひとつの樹種で並木をつくる)

D班テーマ：開放的でほっとする眺めと眺める場所の魅力を高める

01 山に沈む夕日と雲がキレイに見える場所を探せ！プロジェクト

- 氷見で開催される写真展は「朝日」をテーマにしたものが多く、「夕日」を題材としたものは少ない
- ①住民から写真を募集
- ②住民代表者等でベストスポットを選定
- ③②の場所の環境を整える(撮影スポット化など)

03 氷見を象徴するアイコンを作る！プロジェクト

- 目を引くサインやアイコンにより、インターからまちなかへと誘う仕組みを作る

02 田園風景を守る！プロジェクト

- 立山連峰や朝日山への眺め、夕暮れ時の雲や空
- 撮影スポットを作ることで、若者が SNS などでシェアし、外部に広まるのでは
- 水田を生かして、夕日の美しさを際立てる
- 水田の水面に田園風景がきれいに映るようになり、水盤などのちょっとしたオブジェで演出する

04 空き地を生かすプロジェクト

- 高速道路高架下のスペースを生かす(BBQ 場など)
- エリアとして人を呼び込む仕組み
- IC付近は、車でアプローチできる場所づくりをしたい

05 町並み・風景を整えるプロジェクト

- 朝日山や田園風景と調和する建物と広告物にしたい！
- 「経済・商売」とのバランス(節度)を保つ
- 風景に合うもの、品があるものにしたい
- 街路樹や雑草の管理、道路付属物のデザインを統一



ワークショップをはじめ、アンケートや実証実験でいただいたご意見やアイデアを活かし、令和5年度も取り組みを進めていきます！

令和5年度の検討スケジュールは裏面(4面)をご覧ください